

開催中!

「海の周防大島」

—イワシ網漁と一本釣り漁—

八幡生涯
学習のむら

海に囲まれた周防大島では、古くから数多くの漁法が行われてきました。中でも安下庄と久賀は長州藩から漁業上の特権を与えられた「お立浦」でした。近海に好漁場をもつ安下庄はイワシ網漁が盛んな地域でした。久賀は一本釣り漁で知られ、響灘の角島や玄海灘の対馬にまで出漁しています。明治になると沖家室の人々も対馬で鰯を釣り、対



馬での漁は一本釣り漁船の花形漁業となりました。この周防大島の漁業の歴史を、貴重な写真やイワシ網漁船の模型で紹介します。(古賀)

【期間】2月5日(火)～3月31日(日) 9時～16時 / 入場無料

【休館日】月曜(祝日の場合はその翌日)

【場所】学びの間

◆ギャラリートーク

【日時】3月30日(土) 14時から30分程度。直接会場へおいでください。

【問い合わせ】0820・72・2601

大好評!

季節のヨガ教室
「初夏クラス」募集開始周防大島町
総合体育館

健康な毎日を過ごすために、一緒に季節に適したヨガを楽しみませんか?

季節に適應する心とカラダづくりを目指しましょう。本格的にやってみたい方はもちろん、身体の固い方や初心者の方から楽しんで頂ける内容です。週に1度、自分の心と身体と向き合う時間を作ってみませんか?

皆様のご参加をお待ちしております。(中村)

【講師】三浦さおり(日本ヨーガ禅道友会所属)

【場所】周防大島町総合体育館アリーナ

【定員】20名(先着順)

【参加料】1期9回分 5400円

(保険料込・初回時徴収いたします)

【持物】ヨガマット(またはバスタオル)

【日程】5月13日～7月8日までの毎週月曜日

(全9回 19時30分～20時45分)

【申込み】周防大島町総合体育館

TEL 0820・78・2512

※この教室は1期9回を通して受講していただくことで「日頃のヨーガ」となるようなプログラム作りをしております。



since 1999

は

た

ち

の

決

意

の

決

意

の

決

意

の

決

意

の

決

意

の

決

意

の

決

意

の

決

意

の

決

意

の

決

意

2019年2月8日、日本ハワイ移民資料館は元気に開館20年を迎えました。

日本
移民
資料
館

1999年、合併前の旧大島町時代に官約移民3万人のデーターベースを目玉として開館。以来、ハード・ソフト両面に渡って資料館の整備充実を図って参りました。

具体的には、ハワイ各島の博物館等との姉妹提携、広島・仁保島館との友好提携。館内のバリアフリーの整備。アロハ音楽祭の開催。カルチャル・リサーチアドバイザーの配備。官約移民以後の渡航者10万5千人記録の追加。ペルーブラジル移民コーナーの設置。等々…。

おかげで入館者数の累計は、本年2月末現在6万1千人を超えました。より多くの方に日本ハワイ移民資料館を知って頂きたいと願い、今年一年、記念行事を計画しております。益々魅力的な「日本ハワイ移民資料館」を目指して…。

20年記念のプロログとして、2月3日～17日までハワイ移民の歴史とそこに育まれた文化などをまとめた特別パネル展を開催致しました。



昨年の断水では旧福元邸時代に生活を支えた井戸が大活躍。おかげで休館することなく皆様をお迎えすることが出来ました。先人の残した素晴らしい建物に収蔵された数々の移民の軌跡をこれからも大切に守って、周防大島の宝物として伝えて行きたい。スタッフ一同、次の20年に向けて頑張つて参りますので皆様どうぞ日本ハワイ移民資料館へお出かけください。(木元)

宮本写真の示すもの

佐渡島を事例に

宮本常一の写真をテーマにした講座を2月10日に開催。今回は佐渡島出身の池田哲夫氏（新潟大学名誉教授）に講演いただきました。



佐渡島は、宮本常一が40回以上も訪問した島で、撮影写真も多く、その数は約5000枚にものぼります。宮本が佐渡に関心を持ち続けたのは、佐渡が一つの島として生活を完結していること、郷土研究が盛んで、地域づくりに心血を注ぐ人がたくさんいたからでした。

池田氏は、宮本写真には衣類や肥桶、村境のしめ縄の習俗、一人通れる細い幹線道路など、他の人が撮影しない写真が数多くあり、その洞察力の鋭さを感じると指摘され、当時の佐渡の生活が克明に記録されていると述べられました。また、郷土研究家の本間雅彦さん、鬼太鼓座のメンバー、八珍柿の栽培者なども映っていて、佐渡での交友関係を今日に伝えていいると紹介。そのような人びとの交流、生活文化研究を通して、地域振興策を提言した実践家としての宮本の姿を見出すことができる

とされました。

池田氏の熱を帯びた語りに聴衆は宮本常一の地域へ注いだまなざしを感じ、自分の暮らす地域にとって何が大切かを改めて



考えてみたいとの感想も聞かれました。今後も、宮本常一の生涯を通して暮らしの文化を考える講座を定期的に開催します。（高木）

橋の通行規制中の交流

毎年、秋にハワイから団体ツアーのお客様が来館されます。しかし今年は大島大橋に貨物船が接触した影響で大型バスは通行止めとなり、数組の団体が来られなくなりました。楽しみにしておられた日系人の方々はとてもがっかりされたようです。

当館が行程に含まれているのでこのツアーを選択したという方から次の様なメールが届きました。「別行動でそちらへ行きたいと希望しました



が難しいと言われました。メールで申し訳ありませんが、ハワイへ渡った私の祖父母について生年月日・本籍地・渡航年月日などの関係資料を捜しています」というものです。幸いなことに、当館の検索システム「渡航者名簿」の中に記録があり回答したところ、とても感激され、次の旅行の機会には祖父母の生まれた土地、そして当館を訪ねてみたい、という返事をいただきました。

ハワイから来館される日系三世や四世の方々は、一世に関する記録を手にして喜ばれます。中でも実際にご来館いただいた方は展示されている古い品々を見て「ハワイでも見る事が出来ない物が大切に保管されていてとても感動しました。」と言われます。シアタールームで上映している「海を渡った日本人」

を観て、一世の方々のハワイでの労働や苦勞を実感され、先祖への尊敬の念を強く抱かれます。このような活動を通して、日本ハワイ移民資料館が今後益々ハワイの人々との交流を深める場になっていければと思っています。（砂田）

イベントひろば

八幡生涯学習のむら

陶芸作品展を開催します

陶芸の館で行われている陶芸教室の講師と受講生による作品展を開催いたします。一年間の成果をぜひご覧ください。

◆体験コーナー

毎回好評の体験コーナー。今年はパイ・バードへの給付けが体験できます。パイ・バードとは、パイを焼くときに使うイギリス生まれのキッチンツールです。パイ皿の中央に置いてパイ皮を頭が出るようにかぶせて焼くと、口から蒸気を出して吹きこぼれを防いでくれます。さらに肩で皮を支えてくれるので、サクサクのパイを焼くことができるというわれています。



【期間】 3月29日（金）～3月31日（日）9時～16時（最終日は15時まで）／入場無料
【体験料】 500円（限定50個、予約受付あり）
【場所】 ふれあいの間・商いの間
【問い合わせ】 0820・72・2601

暮らしのモノ語り ホテ（布手）

イワシ網漁の時に使う道具で、一種の手旗信号である。小高いところから魚群を見張る山見や、網船へ指示を出すテブネに乗ったムラグミ（漁の指揮者）が合図のために使う。山見からの合図をテブネは沖で見ていて、合図があれば網船へ指示を出す。ホテは一对で使用し、その振り方で

網を下すタイミングや引き方を指示した。

ホテは、太めの針金を曲げてうちわのような形の枠とし、これに布を張って作った。柄は竹で、中ほどに穴をあけ枠の針金を通す。固定していないので、ホテを振ると枠が前後に動き、布がよくはためく仕組みである。

ホテは非常に大切にされ、決してまたいだりほしくない。またくと不漁になるといわれた。ムラグミは毎日持つて帰って、床の間か神棚にあげておき、テブネへ持つていった時にはカンパの下に入れておいた。不漁の時や新しく作った時は、お宮で拝んでもらったという。単に漁の道具であるばかりでなく、ホテそのものが大漁をもたらすと信じられたのである。「叶大漁」の文字や使い込まれた様子も大漁への祈りを感じさせる。漁に生きた人々の願いを伝える道具である。

